

登録コード	UAA09500	開講年度	2026			
授業題目	哲学思想論総合演習				担当教員	早坂 俊廣
					副担当	三谷 尚澄
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・6時限	
				授業形態	演習	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				自身の専門分野に関する深い素養と幅広い理解、探求能力や検証能力を身につけている。	
(2)授業の概要	文化横断型哲学の重要文献を5冊読破し、各自の読解に基づいて原稿用紙15枚程度のレポートを計5本作成したうえで、個別にチュートリアル形式の指導（計5回）を行う。受講希望者は、初回のオリエンテーションにかならず参加すること。					
(3)授業計画	第1回：オリエンテーション（早坂、三谷） 第2回：西田幾多郎「場所」の講読とレポートの作成（早坂） 第3回：西田幾多郎「働くものから見るものへ」の講読とレポートの作成（早坂） 第4回：第一回レポートの提出とチュートリアル（早坂） 第5回：西田幾多郎「論理と生命」の講読とレポートの作成（三谷） 第6回：西田幾多郎「行為的直観」の講読とレポートの作成（三谷） 第7回：第二回レポートの提出とチュートリアル（三谷） 第8回：西田幾多郎「場所的論理と宗教的世界観」の講読とレポートの作成（早坂） 第9回：第三回レポートの提出とチュートリアル（早坂） 第10回：西谷啓治『根源的主体性の哲学』（前半）の講読とレポートの作成（三谷） 第11回：西谷啓治『根源的主体性の哲学』（後半）の講読とレポートの作成（三谷） 第12回：第四回レポートの提出とチュートリアル（三谷） 第13回：西谷啓治『宗教とは何か』（前半）の講読とレポートの作成（早坂） 第14回：西谷啓治『宗教とは何か』（後半）の講読とレポートの作成（早坂） 第15回：第五回レポートの提出とチュートリアル（早坂） 定期試験：行わない。					
(4)成績評価の方法	レポートとチュートリアルでの質疑の内容を、一ユニットあたり20%の割合で評価し、結果を合計した数字を最終的な評価とする。 得点率による評価基準 90%以上 秀、89 - 80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。					
(5)成績評価の基準	成績評価の対象となる各項目について、(i) 熱心な態度と明確な貢献が際立っており、建設的かつ説得的な内容を備えた報告が提出されていれば「卓越している」。(ii) 熱心な態度と十分な貢献が認められ、適切かつ整合的な内容を備えた報告が提出されていれば「かなり上にある」。(iii) 真摯な態度とある程度の貢献が認められ、十分に妥当な内容を備えた報告が提出されていれば「やや上にある」。(iv) 妥当な態度とある程度の貢献が認められ、瑕疵のないまとめと論理性を備えた報告が提出されていれば「水準にある」。					
(6)事前事後学習の内容	自分の担当箇所について事前に入念に準備し、演習の結果を受けて事後に修正を加えることは、最低限行ってください。そのうえで、担当箇所以外についても、教科書・参考書を熟読玩味することが必要です。					
(7)履修上の注意	大学院生としての自覚をもって履修してください。					
(8)質問,相談への対応	以下のアドレスにメールを送ってください。 hayask@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	西田幾多郎『西田幾多郎哲学論集』Ⅰ、岩波文庫、1987年 西田幾多郎『西田幾多郎哲学論集』Ⅱ、岩波文庫、1988年 西田幾多郎『西田幾多郎哲学論集』Ⅲ、岩波文庫、1989年 西谷啓治『西谷啓治著作集』第一巻、創文社、1986年 西谷啓治『西谷啓治著作集』第十巻、創文社、1987年					
【参考書】	藤田正勝『西田幾多郎の思索世界 純粹経験から世界認識へ』、岩波書店、2011年					